

学術報告

同窓会活動報告

坂田 憲彦(20期生)

福岡歯科大学は創立50周年を迎えました。同窓会主催学術講演会も35回を迎えるにあたり、2022年7月に完成した50周年記念講堂にて開催いたしました。

福岡歯科大学開校50周年を迎え「これまでの50年、これからの50年を考える歯科医療」をメインテーマに企画いたしました。福岡歯科大学卒業の著名な4名の講師に、それぞれのテーマから「卒業して何を学び、何を重んじて歯科臨床を研鑽され、歯科医療を行われているのか？」をご専門の立場からご講演していただきました。当日は約180名の先生方の参加があり、会場に來れない方のために後日オンデマンド配信も行っています。

歯周治療のパートでは白石和仁先生(6期)「[Challenging periodontal regenerative therapy for severe case]という演題で講演していただき、インプラント治療のパートでは城戸寛史先生(6期)に「欠損補綴治療の進歩と未来」という演題で講演していただき、包括歯科治療のパートでは上田秀朗先生(5期)に「咬合再構成を極める歯列不正、歯周疾患、多数歯欠損を読み解く」という演題で講演していただき、精密歯科治療のパートでは、松永興昌先生(16期)に「今、必要とされる精密歯科診療の必要性、感覚治療から確認治療による臨床経験の研鑽」という演題で講演していただきました。また、当日は新医科歯科総合病院の見学ツアーも開催され、盛況うちに幕を閉じました。



同窓生からの年紙

第22回福岡歯科大学

四国地区同窓会総会・懇親会 in 高知

矢野 宗憲(9期生 福岡歯科大学同窓会高知支部会長)

コロナ感染により中止していた四国地区同窓会総会を令和5年3月11日(土)午後6時よりザクラウンパレス新阪急高知にて開催しました。出席者は18名(高知9名、徳島2名、香川3名、愛媛4名)でした。四国地区同窓会総会は四国4県持ち回りで毎年行っていますが、コロナの影響により開催が困難で、3年ぶりの開催、高知開催は実に7年ぶりの開催となりました。この3年の間に、愛媛支部会長、香川支部会長の交代もあり、今回新しい四国地区同窓会執行部での開催となりました。

また今回、本部同窓会より吉永修会長、江藤ゆかり専務の出席をいただきました。総会次第は①開催専務挨拶②四国地区同窓会専務野口圭司先生挨拶③来賓挨拶(吉永会長、江藤専務)④愛媛支部、香川支部両新会長(愛媛 小林 悟先生、香川 濱岡 宏典先生)の挨拶⑤会計報告 監査報告⑥本部同窓会評議会総会報告⑦各県近況報告⑧協議議題⑨次回開催専務挨拶⑩閉会の辞であり、約1時間の総会でした。

吉永会長からは、Web会長会開催や、後継者問題、代診問題等を解決すべく活動している同窓会を頼ってもらいたいとの話があり、江藤専務からは「なつみの会」を立ち上げて活動しているので入会してほしいとのことでした。当日の総会、懇親会へ入会された先生もいらっしゃいました。協議議題では、隔年開催が提案され、対面総会のない年はオンライン総会をしようか、という質問がありました。これは、継続議題となりました。

総会閉会後は懇親会へ移行し、来賓挨拶に、吉永会長、そしてご多忙の中、高知県歯科医師会野村和男会長が駆けつけられ、挨拶をいただきました。その後、江藤専務の乾杯の発声と共に開宴となりました。全員の先生が参加され、各々、久しぶりの再会に賑やかな懇親会となりました。当初はコロナ禍でもあり、2次会の予定は組んでいませんでしたが、少しコロナも落ち着いてきたので、当日2次会の出欠を取ったところ、懇親会に続き多くの先生が出席されました。高知の夜を少し楽しんでいただけたなら良かったのでは、と思っています。

コロナ感染が広がり、いつになれば総会が開けるのか、ヤキモキした3年間でした。やっと次回開催(徳島県)に回せると思うと、肩の荷が下りた思いです。

最後になりますが、福岡歯科大学並びに福岡歯科大学同窓会の益々の発展と四国地区同窓会員の更なるご繁栄を祈念いたします。



Hi! From Clinic

夢を追いかけた歯科医師が開く 笑顔あふれる歯科医院

白本 和志(38期生)

私は柔道をしており、国際武道大学という体育大学に進学しました。教員免許を取得した後、大きな怪我もあり、そのまま体育教師として過ごすか悩んでいたところ、福岡歯科大学に編入制度があることを知り、歯科医師である父の背中を見て育った私は、父のようになりたいという想いから福岡歯科大学に編入させていただきました。福岡歯科大学を卒業後、宮崎の小児歯科に勤務し、福岡市東区にある実家の「白本歯科医院」にて、父の優しくも厳しい指導のもと、歯科医師としての在り方や技術を学ばせていただきました。そして、2022年8月に代替わりを機に病院を新設し、「白本歯科医院」を開院いたしました。

当医院には6名の歯科医師が在籍しており、その中には福岡歯科大学の先輩や同級生もいます。歯科医師は皆で毎日カンファレンスや勉強会などを開催し、日々の診療時間以外でも切磋琢磨しています。また、父にもまだまだお世話になりながら、日々精進しながら頑張っています。当医院の強みは、スタッフ同士がとても仲良く、常に「ありがとう」と言い合える関係性を保っているため、「働きやすい環境」で患者様にも明るい雰囲気での治療が行えることです。有難いことに、患者様からも「皆が明るくて良いですね。安心します」とお褒めの言葉をいただいています。

これからも地域住民の方々に寄り添いながら、患者様ファーストの医療を提供できるように、スタッフ一同明るく楽しく、日々精進していきたいと思っています。



卒業生 NOW

自分の進むべき 方向性を見出す道のり

藤吉 賢窓(38期生)

皆様はじめまして。こんにちは。私は、38期生の藤吉賢窓と申します。学生時代はどの分野に進むか、自分に合った歯科医師像を想像できないまま、卒業しました。

まず、手を動かせるようになりたいという思いから、研修医として滋賀県の一般開業医で1年間経験を積みました。その後、同じ法人で4年間勤務しました。その後、学生時代の縁もあって、現在は福岡歯科大学の同級生が理事長を務める白本歯科医院に勤務しています。

この間、インプラントや歯周病、マイクログラフト形成など、様々な勉強会に出席し、学生時代は曖昧だった理想の歯科医師像も、だんだんと確立しはじめ自分の方向性が定まってきました。特に、現在はマイクログラフトを使用した形成の勉強会に参加しながら、日々研鑽を積んでいます。

卒業して、もう7年目になりますが、「現状維持は衰退する」というように、日々研鑽を積みながら、患者様のニーズも様々です。で、一人ひとりに合った治療を行いたいと考えています。また、現在の職場も、学生時代に半ば冗談で「一緒に歯医者をやろうぜ」と言っていた縁が現実になっていきます。将来につながる縁がどこにあるかわからないため、今後とも一期一会を大切にしていきたいと思っています。



クリニックからこんにちは!